mus.takezaiku

@MusTakezaiku

facebook

公式サイト



別府市竹細工伝統産業会館

BEPPU CITY TRADITIONAL BAMBOO CRAFTS CENTER

〒874-0836 別府市東荘園８丁目２-13　TEL：0977-23-1072　https://takezaikudensankaikan.jp/



アクセス

【バ　　ス】●ＪＲ別府駅西口
２番 鉄輪線・５番 立命館アジア太平洋大学(APU)線・
７番 別府リハビリ線・41番 サファリ線
「光の園」下車 …… 徒歩10分
●ＪＲ別府駅東口または北浜バスターミナル
25番 鉄輪線
「竹細工伝統産業会館」下車

【タクシー】●ＪＲ別府駅西口から約10分

- 電　　話　0977-23-1072
- ＦＡＸ　0977-23-1085
- 開館時間　午前８時30分から午後５時
- 休 館 日　毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日)
  年末・年始(12月29日～１月３日)
- 入 館 料　高校生以上 390円(税込)
  小・中学生 130円(税込)
- 団体割引(20名以上)　高校生以上 330円×人数(合計金額の10円未満切捨)
  小・中学生　91円×人数(合計金額の10円未満切捨)
- 事前予約　団体での入館及び体験学習を希望される方は、事前予約をお願いいたします。

体験学習

天然素材による手作り製品が見直されている今、短時間で竹細工の魅力に触れていただけるように「体験学習」を実施しています。



四海波(花籠)

体験学習代金　3,000円
所要時間　60分程度
対　　象　中学生以上

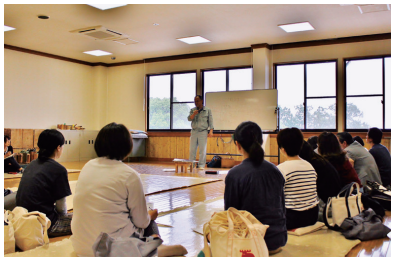


竹鈴

体験学習代金　800円
所要時間　40分程度
対　　象　小学校中学年以上

※体験学習は一週間前までにご予約をお願いいたします。
スケジュールによってお断りすることがございますのでご了承ください。

竹の教室





別府竹細工の後継者の確保、育成や伝統技術の伝承を目的として週２回開催しています。

教室には多くの研修生が学んでおり、一般の見学者も熟練した講師による指導現場を見ることができます。

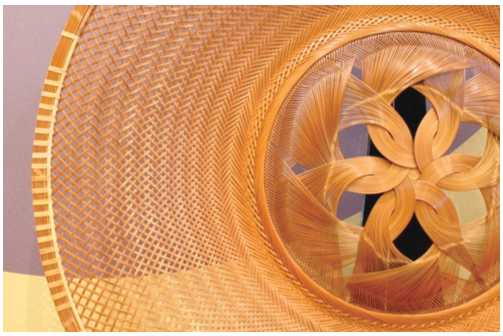
毎年３月には、その成果を発表する展示会を開催し多くの方が来館されています。

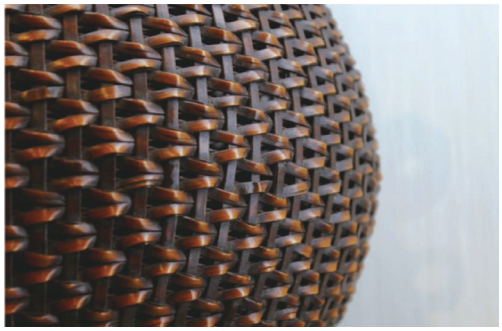
別府竹細工の由来

「別府竹細工」は、景行天皇が九州熊襲征伐の帰りに別府に立ち寄った際、お供の膳伴（台所方）が、良質の竹の多いことを発見して、メゴ（茶碗かご）を作ったことがはじまりと言い伝えられています。

江戸時代に入ると、別府温泉の名が全国に広まり、訪れた湯治客が滞在中に使用した台所用品（飯かご、味噌こし、米あげざる等）が土産品として売られるようになり、それとともに竹細工市場が盛んになりました。

明治35年に竹工芸の近代化のための技術者育成を目的とした徒弟学校（現大分県立大分工業高校の前身）が創立され、今日の優れた竹製品の生産基盤が築かれ、別府の地場産業として定着していきました。





伝承される技術

別府竹細工は、大分県が生産量全国第１位を誇る良質のマダケを主材料として、用途に応じてハチク、クロチク、ゴマダケ、メダケなどを使用しています。編組から仕上げまで全て手作業で行われており、長年にわたる伝統的技法が洗練されたデザインに生かされ、数多くの優れた製品が作られています。その製品は伝統文化の美しさを備え、テーブルウェアなどの台所用品から美術工芸品まで幅広く愛用されています。

この竹細工を技術的に昇華させ、造形性を高めた作家が輩出され、その中から、人間国宝生野祥雲斎が誕生しました。

昭和54年には当時の通産省から「伝統的工芸品」の指定を受け、竹材資源の有効活用や伝統技術の保護育成等の事業にも取り組んでいます。

館内のご案内



展示室１

展示室１は、「歴史」「素材」「技法」「生活とくらし」「未来」等のコーナーを設置して人間と竹との関わりを総合的に展示しています。

特に「名工」のコーナーでは、名工と呼ばれる方々の優れた技法による作品を数多く展示しているほか、最近の生活様式にあった斬新なインテリア製品もあります。

また、バーチャル所蔵品庫では、展示していない作品もご覧いただけます。



展示室２

１年に数回企画展を開催しています。

開催情報はホームページでご覧いただけます。



2018年喜寿記念展の様子

@MusTakezaiku

facebook

研修室

第１研修室では、別府竹細工の将来を担う若手の技術研鑽や習得のなる「竹の教室」や「サロン工房」として利用されるほか、一般や学生を対象とした体験学習なども数多く実施しています。

また、第２研修室でもデザインや他の工芸分野などの各種研修会が開催できるような設備を整えています。



ミュージアムショップ

衣・食・住を彩るさまざまな竹製品を販売しています。

コーヒーなどを楽しめるカフェコーナーも併設しており、竹林を眺めながらゆっくりとしたひとときをお過ごしいただけます。



小鹿田焼のカップ&ソーサー（カフェコーナー）

